

「はい、注目！この度、風紀委員だった上岡は
肉便器委員に変わる事になった」

「くっ、何故このような……」



「皆これから上岡と『仲良く』してやれよ」

「ひゃあっ!？」

ビリ
ビリ
ビリ
リッ
リッ

「オレ前から上岡の爆乳気になってたんだよな」

「この乳で風紀委員とか股間の風紀が乱れるよな」



「い、嫌！やめなさ…」

「肉便器委員なんだから
まともな服着てんじやねーよ」



「ノーパンノーブラとかやられる気満々じゃん」

「こ、これは決まりで仕方なく…」

ビ
ン
ビ
ン

「オラっ！股閉じてないで開けよ」

「うっ…」

「おっぱいはこんなに大きいのに
下の毛はツルツルかよく剃ってるの？」

「こ、これは全然生えてこないせいで…」



「まんこは追々やるとして、
まずは恥ずかしいおっぱいにつけるための
肉便器委員のピアス用の穴を開ようね」
「ひ、ひぎい！」

「うへえ、痛そう」

「でっかいおっぱいに合わせて特大サイズだもんな」



「でっかい乳首にピッタリのピアス付けようね」

「い、痛っ!」

「後でクリトリスにもつけようね」

「ち、乳首の中が…」



「ああっ、中で震えて…あ、足が…」

「上岡さんこんな胸しといて処女だったのかよ」
「初体験がバイブとか、
まあ肉便器にはちようどいいんじゃない？」



「嫌！見ないで！も、漏れ……！」

「うわっ漏らしやがった」

「便器が小便漏らしてちや世話無いわな」

「う……お、おっぱいまで……」



「次の授業は体育だし
着替え前に更衣室で
皆で一発やろうぜ」

「こんな格好で外なんて誰かに見られたら…」

肉便器

目、女一す♡

調教中



「さっ、とりあえず横になれや」

「痛っ、乱暴なことしないでよ!」

「時間ないしさっさとやろうぜ」



「尻毛も生えてないんだな」

「うっ、さ、触らないでよ!」

「窮屈そうだな尻だな」



「ちょっとほぐしてやるよ」

「ひぎっ!」

「痛っ、あんまり締め付けんなよ」

ズボッ



「くっさー！うーわ、指にウンコついた」

「臭いなあ、昨日何食ったんだよ」

「き、昨日はカレーを…」

ぷん



「腹の中浣腸で洗浄して
臭いウンコ全部出しちまおうぜ」

「あっ！っ、冷たっ！」



「おっ、お腹が…と、トイレ行かせて…」

ぎゅるるる

「流石に3本ぶんも入れたら腹パンパンだな」

「おーい、いつまでやってんだ
もう授業始めるぞー」



「やべえ！急がなきゃ」

「チエツ、上岡がチンタラしてるせいで
やりそこねたじゃねーか」

「うっ…うんちが…でっ…でそう…」

「栓してやるから行くぞ」

「いっ、いいぎっ…」



「おっ、上岡は肉便器委員用の
体操服か、似合ってるぞ」

「うっ…こんなハレンチな格好…」

「それじゃ授業はじめるぞ
今日の授業は野球だ」

「うーっす！」



「上岡の腹たぶんたぶんじゃん」

「お、お尻からヘンな物沢山入れるからでしょ!」

たぶん

たぶん





「尻の栓抜いたらホームランな」

「えっ！ま、まさかそれをお腹に…」

「それじゃあ始めるか、上岡はボール役な」



「オラっ！」

「いけー」

「はあ……はあ……お、
で、出そう……や、
お腹が……
やめ……」

「ダメでやんすねえ、
野球部のオイラに貸してみるでやんす」

「おお、野球部のキャプテンの振り方みせて貰うか」





「おおーっ、流石野球部」

「うーわ臭っ!」

「んっんだメっ止まらない!」

「ざっとこんなもんでやんす」



「汚れるから脱糞うんこちゃんのズボンは脱がしてあげるよ」

「あっ！や…み、見るな」

「うわっ臭っ！上岡、ちゃんと片付けしとけよ」

「うっ、ごめんなさい」



昼休み

食堂にて

(やった!今日は唐揚げね)



「あ、上岡先輩チーツス」

「あ、差須くん。み、見ないでよ」

「先輩風紀委員から肉便器委員になったツスもんね」



「肉便器委員就任祝いに
特製ソースかけてあげますよ」

「えっ！嫌っ！いらないうて！」

「好き嫌いはダメですよ」



「うっ、出る！」

「あっ…せ、折角の唐揚げが…」



「おっ、差須。何やってんの？」

「ああ、肉便器委員になった先輩のために
ごはんの特製ソースかけてあげてたんすよ」

「お、そりやいいな。俺もかけてやるよ」

「嫌っ！や、やめな……」



「さ...い...」

「出るっ!」

「早っ!」

「上岡がこんなおっぱいしてるのが悪いだろ」
「そうッスね」

「ああ...私のごはん...」



「ほらほら先輩食べてくださいよ
肉便器委員が精液拒否とかお仕置きですよ」

「うっ…苦っ…臭…」

「ちやーんと残さず全部食べろよ」

「うっ…」



放課後 男子トイレ

（んっ…まあおっぱいなら…）

「この胸のパイズリは迫力あるよなあ」

「すげえ締め付けてくるぜ重量感すげえわ」



「うっ！出るっ！」

「うへっ、ヌメヌメして気持ち悪い」



「終わったら次変われよ」

「まだまだ待ってるんだからな」

「ほら、終わったんだから退いてよ」

「いやゝまだ収まらんからもう一回頼むわ」



「もう待ってられねえよ」

「もう複数一遍にでもいいんじゃないか」

「えっ!? 3人も一遍に出来るわけじゃない!」



「ほら、乳首に入れりゃいいんだよ」

「い、痛っ!」

「なるほど、結構これも気持ち良いな」





「ひゃあっ!-」

「出るっ!-」
「ああっ!-」

「うっ…乳首の中がヌメヌメする…」

「ふう…抜いた抜いた」

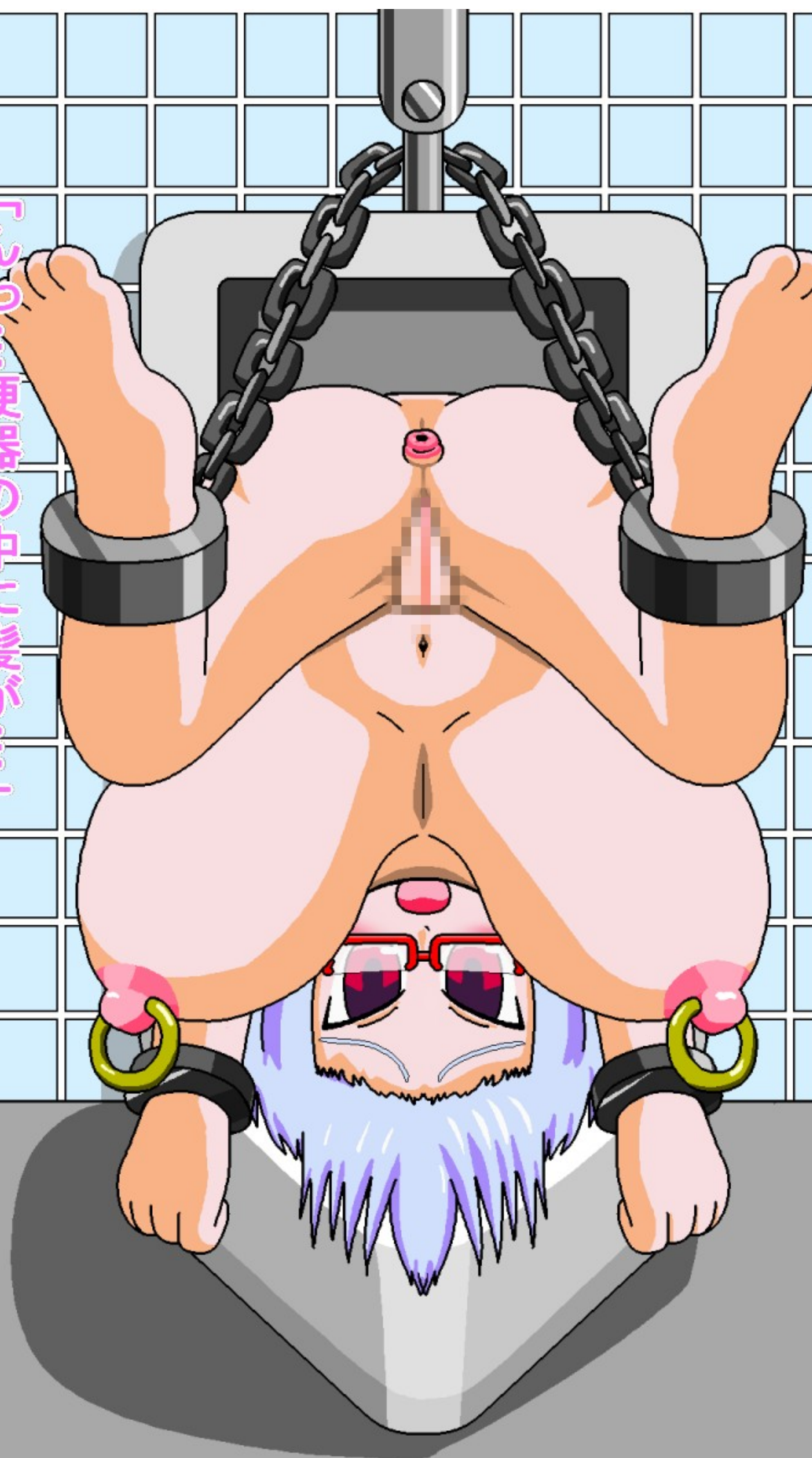
「次は俺も乳首試してみようかな」

「お前はパイズリ独占しすぎなんだよ」



「肉便器委員なんだから
ちゃんと便器になって貰わないとな」

「んっ…便器の中に髪が…」

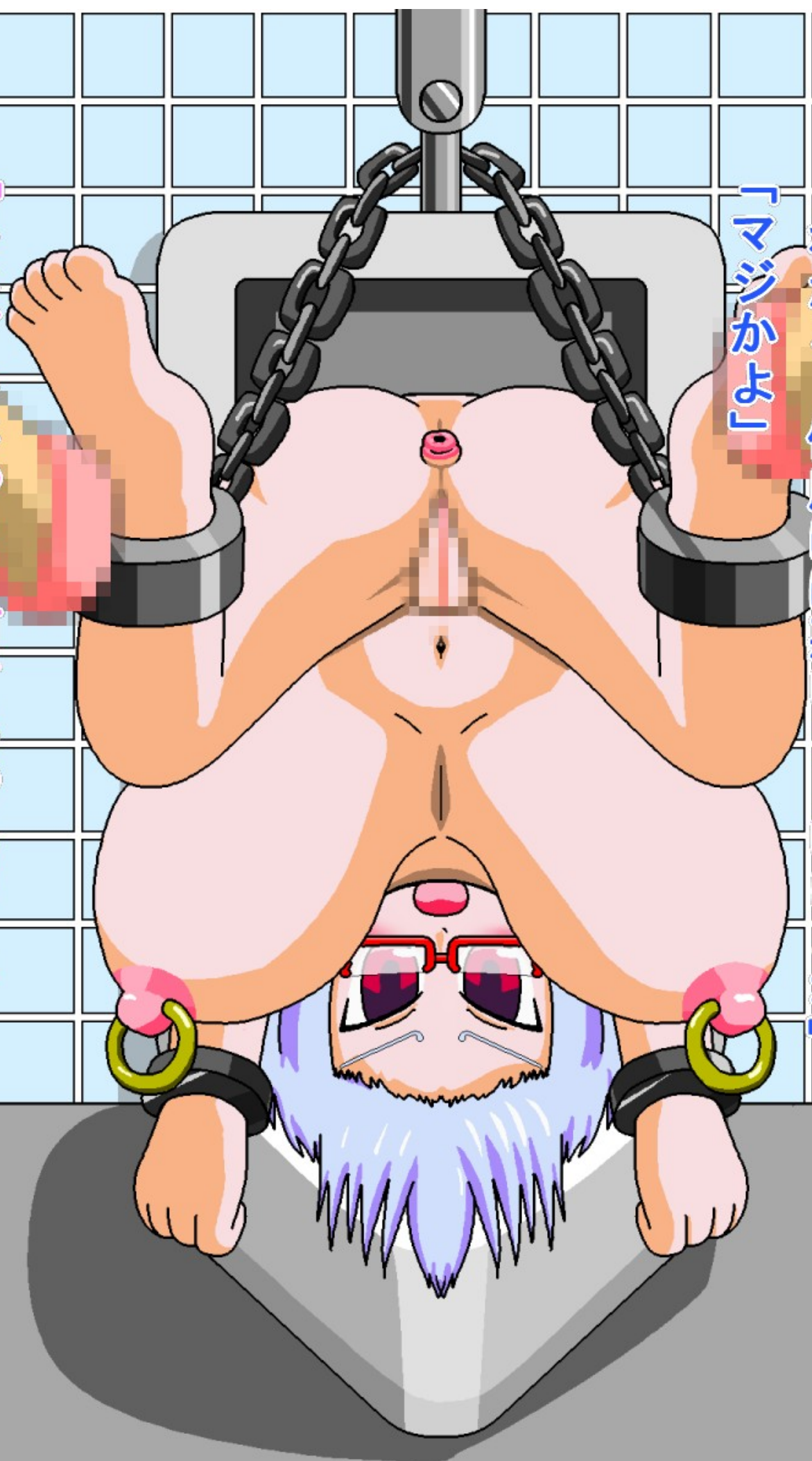


「いった後はシヨンベンしたくなるよな」

「わかる、健康には悪いらしいけどな」

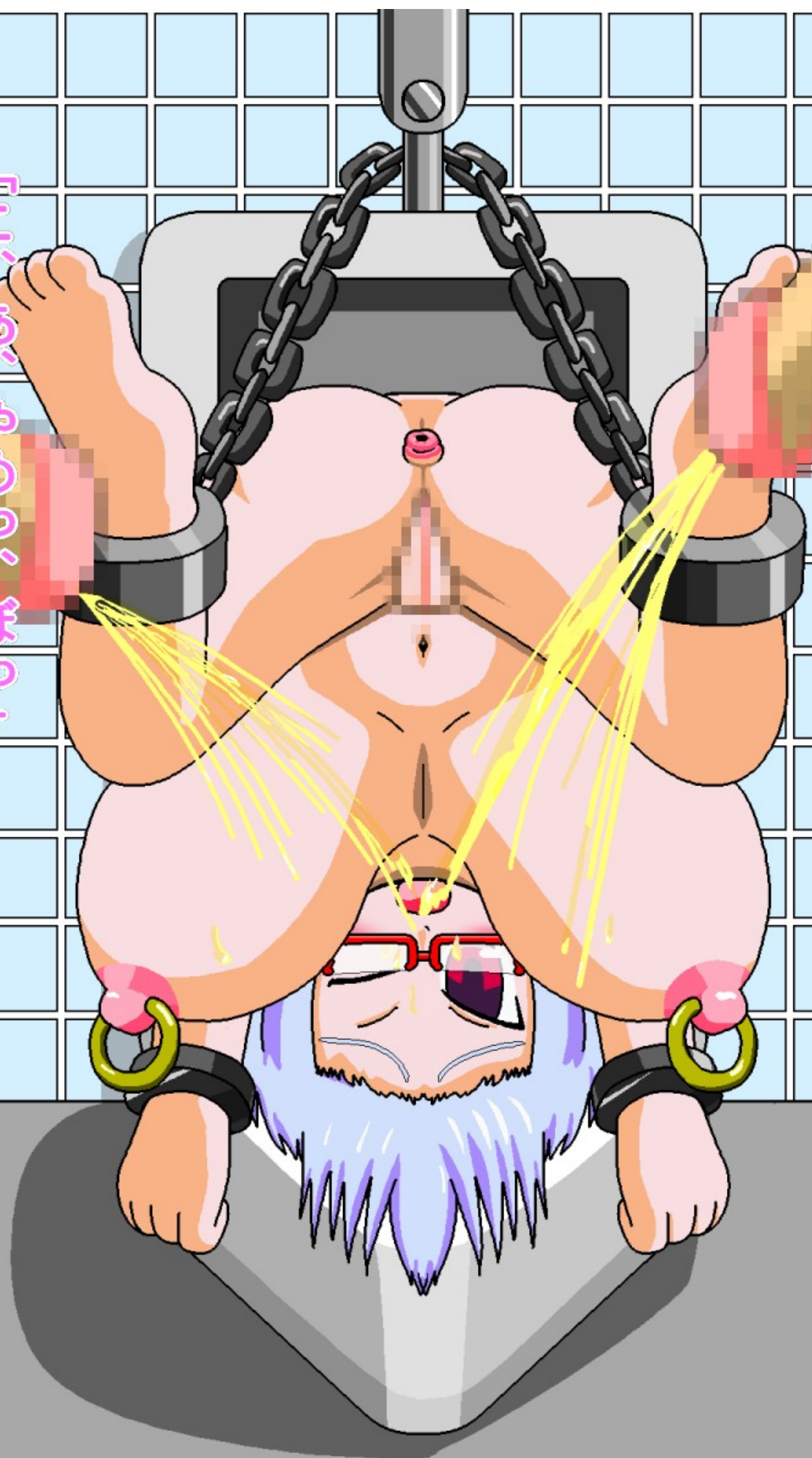
「マジかよ」

「ちよ、ちよっと！何するつもり！」



「ほら、ちゃんと全部飲めよ」

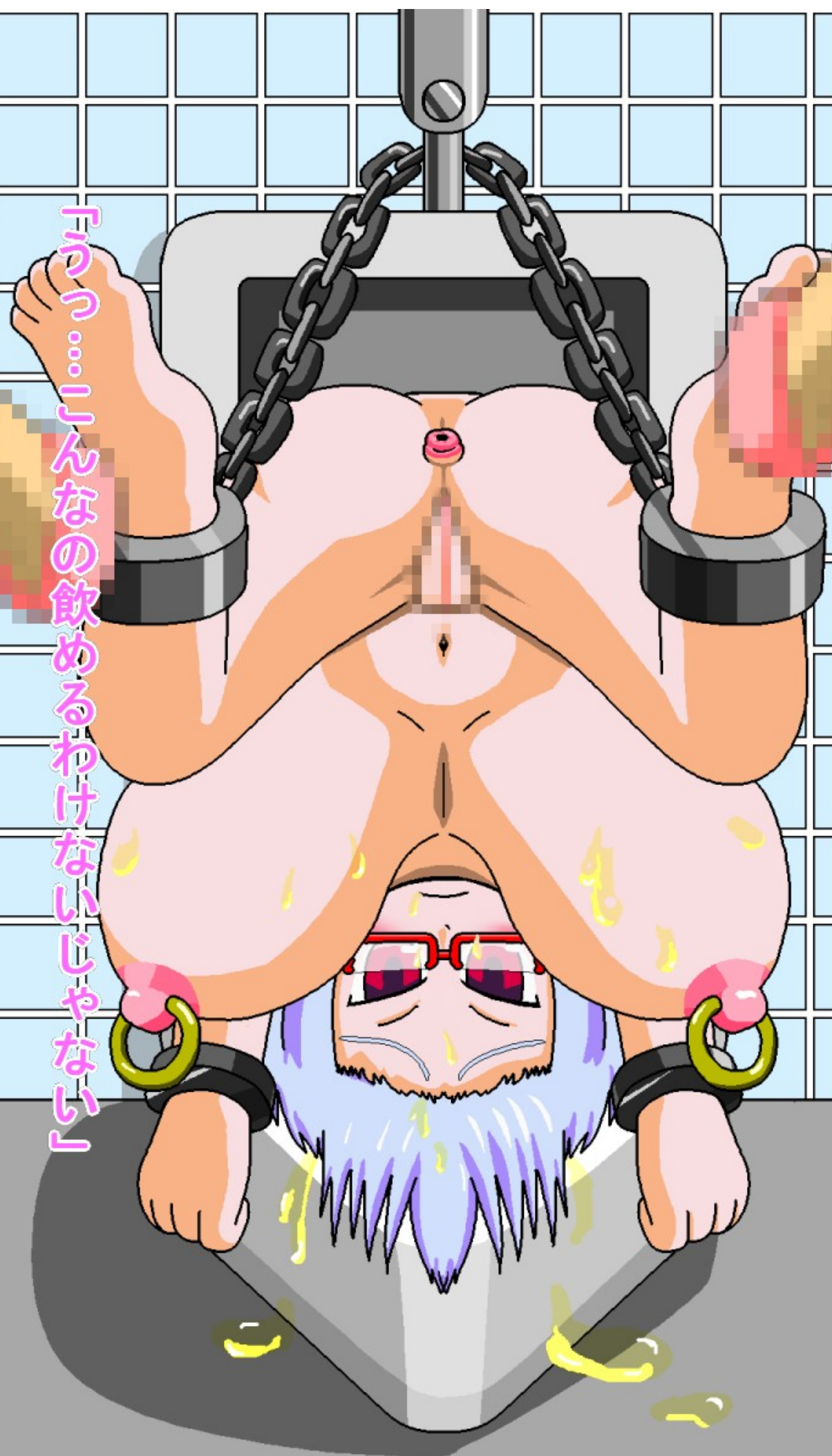
「あ、やめっ、ぽっ」



「ちゃんと飲めって言ったのにだだ漏れじゃん」

「うっ……こんなの飲めるわけないじゃない」

「汚れたの後に掃除しとけよな」



（んっ…こんどは洋式のほうね、逆さ吊りよりマシだけど）

「おう、暇だから抜きにきたぞー」



「上岡っておっぱいに目がいくけど
尻もかなりデカいよな」

「痛っ！お尻揉まないでよ！」



「じゃあ揉まない代わりに叩くわ」

「痛っ！やめてっ！」



「ううっ…お尻ヒリヒリする…」



「それじゃあマンコ使わせて貰おうかね」

「えっ、嫌！生は…」



「いぎっー!」

「嫌々言いつつすんなり入るじゃねーか」



「今日始めたばかりの割には緩いな
元風紀委員なのにオナニーよくやってんの？」

「や…そ、そんなこと…」

「ふーん、ま、どっちでもいいか。そろそろ出すぞ」

「え？嫌っ！そ、外に…」



「ふふ...」

「あっ...」



「ふう…ちゃんと使用回数書いとかないとな」

「あっ…中に…赤ちゃん出来たらどうするのよ…」

「別に肉便器委員だからいいだろ」



うっ…結局23回も出された…

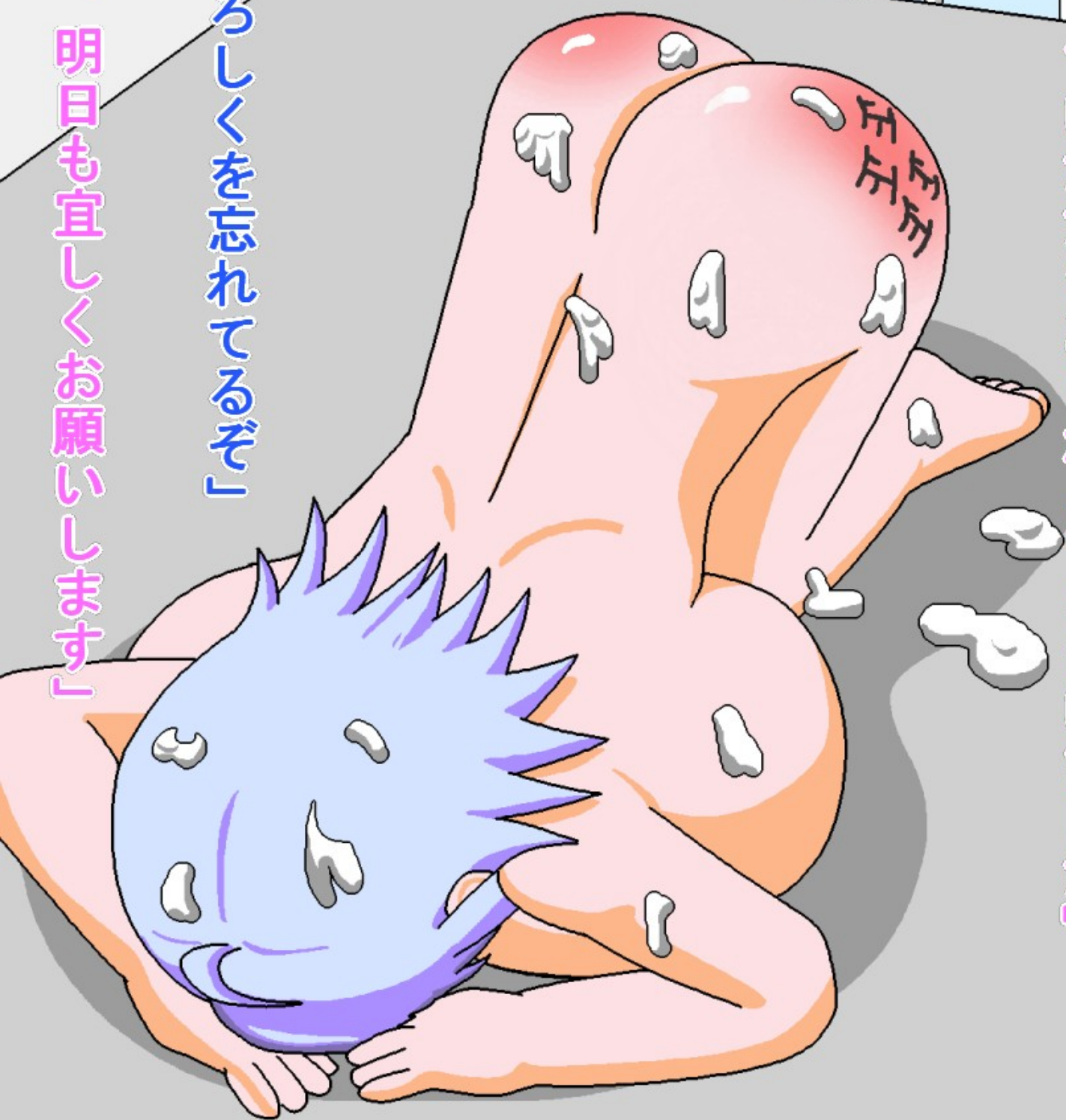
「ほら、肉便器委員は使ってもらったら
ちゃんと御礼言わなきゃダメだろ」



「くっ…使っていたいただきありがとうございます」

「明日もよろしくを忘れてるぞ」

「うっ…あ、明日も宜しくお願いします」



「じゃあ電気消して帰るか」

「俺らが帰るまで顔上げんじゃねーぞ」

「……うん……」

